

記入例

令和4(2022)年度届出版
(2021年度実績)

様式第23号の15(第50条の12関係)

既に目標決定及び達成状況届出書を提出している事業者

化学物質管理目標決定及び達成状況届出書

大阪市長 様

届出日(送付の場合は送付日)を記入。

2022年4月1日

届出者 住所 大阪府大阪市住之江区南港北2丁目1-10
氏名 大阪環境守株式会社
代表取締役社長 環境 太郎
代理人 南港工場長 大阪 一郎

届出日時点の情報を記入

押印は不要

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
大阪府生活環境の保全等に関する条例第81条の25第2項の規定により、次のとおり届け出ます。

事業所の名称	南港工場			
事業所の所在地	大阪市住之江区南港北2丁目1-10			
化学物質管理 目標	管理化学物質の種類	条例24:VOC(揮発性有機化合物)		
	管理の改善の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 排出量の削減 <input type="checkbox"/> 移動量の削減 <input type="checkbox"/> 取扱量の削減 <input type="checkbox"/> 有害性の低い物質への代替 <input type="checkbox"/> 設備の安全 <input type="checkbox"/> マネジメ <input type="checkbox"/> リスクコ <input type="checkbox"/> その他の方 		
	指標とする項目	1:上記管理化学物質の大気への排出量の削減量		
	指標とする項目に係る目標	上記管理化学物質の大気への排出量を基準年度より削減	1000	kg
	改善率	10 %の改善 (2019 年度比)
	目標達成年度	2024年度		
	目標決定に当たっての考え方	リスク評価の結果、使用量が最も多いVOCの環境リスクが高いことから、VOCを管理目標の対象物質として設定した。指標とする項目に関する削減量については、技術面・費用対効果を検討したうえで実施する対策を決定し、その削減見込量とした。		

実線での囲みの部分は、計画初年度(目標決定時)に記入した後は原則変えない。

化学物質管理目標を達成するための具体的方策に関する計画	別紙のとおり										
化学物質管理目標を達成するために実施した対策の内容	<p>・塗装設備の使用の合理化(適切な塗装ガンの選択、ホース長の見直し等)を実施した。さらに、塗装・洗浄時の手順を手順書に取りまとめ、これを使用して研修を実施し、作業者の技術の向上を図った。(2020年度)</p> <p>・前年度の取り組みに加え、一部製品に使用するの塗料について低VOC塗料を採用した。(2021年度)</p> <p style="background-color: yellow; border: 2px solid red; padding: 5px;"> ・目標の達成に向け、実施した対策の内容を記入(別紙の計画に記載した具体的方策など) </p>										
化学物質管理目標の達成状況	<p>・2019年度実績でVOCの大気への排出量は10,000kg/年。</p> <p>・2020年度実績でVOCの大気への排出量は9,700kg/年。基準年度から300kg削減、改善率3.0%。</p> <p>・2021年度実績でVOCの大気への排出量は9,300kg/年。基準年度から700kg削減、改善率7.0%。</p> <p style="background-color: yellow; border: 2px solid red; padding: 5px;"> ・届出前年度の実績を、前回届出内容に追記する形で記入 ※基準年度の実績の記載も忘れずに行う。 </p>										
化学物質管理目標を達成するために実施した対策の検証の結果	<p>前年度に引き続き、塗装設備の合理化目標を達成することができた。また、作業者を含む従業員に対して化学物質の管理改善に向けた研修の開催、生産量当たりの塗料・溶剤の使用量を周知するポスターを掲示板への貼付などの取組を行ったことで、会社全体の目標達成志向の向上につながったと考えられる。一部の製品について、試作品の製造と、品質試験により低VOC塗料を採用することが可能なことが分かったので、顧客に働きかけ低VOC塗料の使用割合をさらに高めることで、目標を上回る削減をしていきたい。(2021年度)</p> <p style="background-color: yellow; border: 2px solid red; padding: 5px;"> ・進捗状況に対する検証(見解)を記入。 ※別紙「化学物質管理目標達成のための具体的方策に関する計画」における、「具体的方策」と「指標とする項目」、それぞれの進捗状況の検証をしたうえで、今後の方策を </p>										
化学物質管理目標を達成するための具体的方策に関する計画の変更をしたときは変更した事項	<p>原則記入不要</p> <p>※進捗状況等を踏まえ、別紙「化学物質管理目標達成のための具体的方策に関する計画」における、「具体的方策」や「指標とする項目」について、変更した場合のみ、その理由と、変更内容を記載してください。 (生産量が大幅に増加したため、指標とする項目を原単位とする等)</p>										
本届出について生産技術上・営業上の秘密に係る情報の有無	<p style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/>: 無 <input type="checkbox"/>: 有(秘密とする内容を記載した書類を添付してください。) </p>										
担当者(問い合わせ先)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">部署名</td> <td>南港工場環境安全部管理第一係</td> </tr> <tr> <td>(ふりがな)</td> <td>なんこう はなこ</td> </tr> <tr> <td>氏名</td> <td>南港 花子</td> </tr> <tr> <td>電話番号</td> <td>06-6615-7988</td> </tr> <tr> <td>電子メールアドレス</td> <td>〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇〇</td> </tr> </table>	部署名	南港工場環境安全部管理第一係	(ふりがな)	なんこう はなこ	氏名	南港 花子	電話番号	06-6615-7988	電子メールアドレス	〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇〇
部署名	南港工場環境安全部管理第一係										
(ふりがな)	なんこう はなこ										
氏名	南港 花子										
電話番号	06-6615-7988										
電子メールアドレス	〇〇〇〇@〇〇〇.〇〇〇										
※受付欄											

備考 ※印の欄には、記載しないこと。

別紙 化学物質管理目標を達成するための具体的方策に関する計画

計画内容を変更していない限り、計画初年度より目標達成年度に係る届出においては別紙は変更しない。
基準年度、計画初年度について、翌年度以降1年ずつ進めてしまう届出書が多くみられます。

年 度	2019 年度 (基準年度)	2020 年度 (計画初年度)	年度 (届出の前年度)	2022 年度 (中間目標年度)	2024 年度 (目標年度)
具体的方策		○塗料・溶剤の使用量を定期的に把握する。 ○塗装設備の使用の合理化（適切な塗装ガンの選択、ホース長の見直し等）を検討・実施する。 ○塗装・洗浄時の手順を手順書にまとめ、手順書を用いた研修を実施することで、作業者の技術の向上を図る。		○第一塗装ラインの乾燥施設に排ガス処理設備（触媒燃焼装置）の設置を検討する。 ○塗料・溶剤の使用量を定期的に把握する。 ○塗装設備の使用の合理化（適切な塗装ガンの選択、ホース長の見直し等）を検討・実施する。 ○手順書を用いた研修を実施することで、作業者の技術の向上を図る。	○第一塗装ラインの乾燥施設に排ガス処理設備（触媒燃焼装置）の設置を検討する。 ○塗料・溶剤の使用量を定期的に把握する。 ○塗装設備の使用の合理化（適切な塗装ガンの選択、ホース長の見直し等）を検討・実施する。 ○手順書を用いた研修を実施することで、作業者の技術の向上を図る。
指標とする項目 〔VOCの大気への排出量の削減量〕	【実績値】 大気への排出量 10,000kg/年	【計画値】 大気への排出量 9,800kg/年 基準年度から 200kg削減	-	【中間目標値】 大気への排出量 9,500kg/年 基準年度から 500kg削減	【目標値】 大気への排出量 10,000kg/年 基準年度から 1,000kg削減
改善率	—	2.0 %	%	5.0 %	10.0 %

備考 1 改善率は、指標とする項目を数値化できる場合に記入する。

2 改善率は、次に示す例により計算して記入する。

例 指標とする項目が「化学物質の排出量」の場合

$$\left[\frac{\text{基準年度の排出量} - \text{当該年度の排出量}}{\text{基準年度の排出量}} \right] \times 100\%$$